



神鍼会会報

神奈川県鍼灸師会会報誌 112号

目次

1. 巻頭言 会長 草山 真紀夫 01
2. 令和7年度（公社）日本鍼灸師会
関東甲信越ブロック会議 in 山梨 参加報告 副会長 藤田 洋輔 02
3. 第20回（公社）日本鍼灸師会
全国大会in いばらき Tsukuba 副会長 藤田 洋輔 03
4. 令和7年度 危機管理委員会 活動の振り返り . . . 危機管理委員長 草山 真紀夫 03
5. 令和7年度 普及部の活動予定 普及部 高橋 宏 04
6. 令和7年度 学術部上半期 事業報告 学術部 大屋 朗 05
7. Web 学生交流会 &
お灸工場見学 supported by 山正 学生委員会 藤田 洋輔・北原 奈那 06
8. 令和6年度「忘年会&納会」開催報告 組織共済部 藤田 洋輔 06
9. 令和6年度および令和7年度 理事会報告：抜粋 総務部 三田 正樹 07
10. 令和6年度下半期～令和7年度上半期 新入会員のご紹介 08
11. 編集後記 08
12. 令和7年度 下半期スケジュール（11月～） 09

巻頭言

会長 草山 真紀夫

秋風が心地よく感じられる季節となりました。会員の皆様におかれましては、日々のご研鑽と地域医療へのご尽力、心より敬意を表します。

本年も残すところ数か月となり、社会全体が次なるステージへ進もうとしています。新型コロナウイルスの流行を経て、私たち鍼灸師の役割も大きく変化しつつあります。単なる代替医療の担い手ではなく、「予防」と「未病」への寄与、そして高齢化社会における地域包括ケアの一翼を担う存在として、社会からの期待はますます高まっています。

特に最近では、心身の不調に悩む方々への「やさしい医療」として、鍼灸治療への関心が高まっております。私たちが提供する“手当”には、技術だけでなく、寄り添う心と信頼関係を築く力が求められています。これは、AIや最新機器では決して代替できない、私たち鍼灸師ならではの価値であると信じています。

そしてこの秋には、第20回日本鍼灸師会

全国大会を10月4日（土）・5日（日）、「研究学園都市・つくば」にて開催いたします。テーマは、「求められる鍼灸・求める鍼灸 ―鍼灸と緩和ケアのコラボレーションを茨城から発信!!―」であり、本大会では、鍼灸が果たすべき役割を多角的に見つめ直し、緩和ケアとの連携をとおしてその可能性と未来を深めてまいります。

また、当会としても、学術研修や地域連携、次世代育成に力を入れております。会員の皆様がそれぞれの現場で安心して活動できるよう、制度面・教育面の整備にも引き続き取り組んでまいります。

自然と向き合い、身体の声に耳を傾ける秋。皆様におかれましても、どうぞご自身の健康を大切に、鍼灸師としての誇りと使命を胸に、ともに歩んでまいりましょう。

実り多き秋となりますよう、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和7年度（公社）日本鍼灸師会 関東甲信越ブロック会議 in 山梨 参加報告

副会長 藤田 洋輔

毎年開催されている（公社）日本鍼灸師会関東甲信越ブロック会議が、本年度は令和7年7月13日（日）に山梨県鍼灸師会の主催で開催されました。

今回のブロック会議では、「会長職の役割」「各事業部門の運営」「各県師会における会務の課題点」など、多岐にわたる話し合いがおこなわれました。

地域における医療・福祉・保険の連携は地域包括ケアシステムを推進するなかでますます高

まり、運用され始めています。これは平時のみならず有事においても同様であり、有機的な地域社会の機能として重要なことといえます。

今、各県鍼灸師会は運営上の課題をクリアしながら、さらに地域社会でこれから何を担うべきか、それが問われる時代になっているのではないのでしょうか。今後もブロック内や日鍼会内での議論を当会でも共有し、県内の鍼灸師の皆さまと社会貢献を検討してまいりたいと思います。

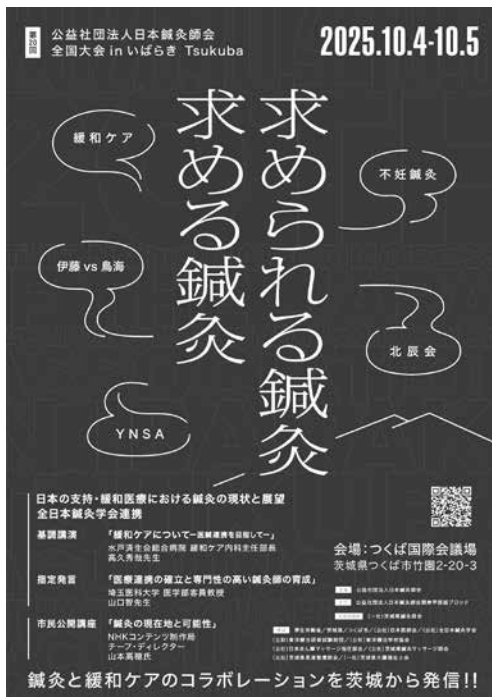


関東甲信越ブロック各県正副師会長・役員および山梨県鍼灸師会役員の皆さま

第20回（公社）日本鍼灸師会 全国大会 in いばらき Tsukuba

副会長 藤田 洋輔

令和7年10月4日（土）・5日（日）の二日間、（公社）第20回日本鍼灸師会全国大会が茨城県にて開催されます。本大会では、さまざまな角度から鍼灸の貢献を見つめる講座を茨城県鍼灸師会より立案いただきました。



関東甲信越ブロックでは、各師会学術部を中心に協力体制を構築し、今回はブロックが一体となるといった側面も持つ全国大会になるものと期待しています。

また、今年度の青年委員会の企画では、これまでの「青年（委員会）」交流会ではなく、「学生」交流会として、これからの鍼灸界を担う学生との交流会を目指していると日本鍼灸師会学生委員会より聞いております。今の学生がどのようなことを考え、また、われわれ鍼灸師・鍼灸界に何を求めているか、この機会に皆さまもご参加され、交流を深めてみてはいかがでしょうか。

一人でも多くの会員の皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしております。

令和7年度危機管理委員会 活動の振り返り

危機管理委員長 草山 真紀夫

本年度は大規模な自然災害こそありませんでしたが、台風・大雨による浸水被害が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。一日も早いご快復・ご復興をお祈りいたします。

当会においては、災害協定による活動依頼に対応すべく準備を日ごろから心掛けておく必要があると痛感しております。昨今の気候変動による災害の激甚化を踏まえ、地域における「医療支援人材」として鍼灸師が果たすべき役割についても再確認をおこないました。

会員の皆さまにおかれましては、自己研鑽としての救急法、JIMTEF（ベーシックコース・アドバンスコース・スキルアップコース）の研修を受講していただきたくお願いいたします。

また、地域行政や他団体との連携を深めるなかで、災害時の協力体制づくりにも着手しました。まだ道半ばではありますが、鍼灸師が地域の「安心・安全」に寄与できる存在であることを、引き続き広く伝えていく必要があります。

来年度も、「備えあれば憂いなし」の精神のもと、実効性のある危機管理体制づくりを一層推進してまいります。会員の皆さまのご理解とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。

令和7年度 普及部事業報告

普及部 高橋 宏

■本年度の活動予定

昨年は各イベントに多くのご来場をいただきました。今年は新たなイベントへの出展を検討し、会員の皆さまの更なる活動の機会を増やしていきたいと考えております。

【10月26日 横浜マラソン 2025】

本年度も救急医療チームの一員として参加を予定しています。

2019年まではランナー向けケアコンディショニングブースが設置されそちらに参加していましたが、ここ数年は設置されず救急医療チームに参加していました。来年からケアコンディショニングブースが復活するかも?!という情報が入ってきています!まだどうなるかわかりませんが、大きなマラソン大会でのケアコンディショニングブースへの参加経験は貴重なものになると思います。復活を期待して、情報を待ちたいと思います。

【11月9日 ハローよこはま 2025】、【11月23日 50th よこすかシーサイドマラソン】にも、引き続き参加予定です。



ハローよこはま 2024 での活動の様子

今年もたくさんの来場者やランナーに鍼灸の魅力伝えていきたいと思っております。

本年度は、2026年3月8日に伊勢原市で開催される【第41回大山登山マラソン】への初ブース参加に向けて活動しています!先日、マラソン事務局へブースでの活動内容について説明にうかがいました。参加の可否についての連絡はしばらく先になりますが、神奈川県中央部・西部での普及部活動はここ数年間ありませんでしたので、ぜひ参加したいと考えています。県中央部・西部での活動なら参加できる!という会員のみなさま!参加が決まりましたら、活動へのご協力よろしくお願いいたします。横浜・横須賀での活動へのご参加もお待ちしています。

募集の詳細は神鍼会ホームページに掲載しますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。



伊勢原駅前から大山の中腹へ 2,000 名を超えるランナーが走ります

令和7年度 学術部上半期事業報告

学術部 大屋 朗

■はじめに

神鍼会会員の皆さま、平素より学術部へのご理解とご参加を賜り誠にありがとうございます。本年度もどうぞよろしく願いいたします。

■第1回イブニングセミナー

さる7月30日（水）に、本年度1回目のイブニングセミナーを開催いたしました。

講師に岩元健朗先生をお招きし、『日常臨床を感じよう！』をテーマに、実際の症例を基に、問診から施術まで一連の実技をご披露いただきました。あわせて日々の症例をまとめ蓄積していくことの大切さをご講義いただきました。

当会では今後も、症例検討に関するセミナーを継続開催していく予定です。症例検討は「きづき」の多い講習会です。ぜひご参加お待ちしております。

■令和7年度の予定

本年度の講習会は未確定の内容もありますが、現時点でのお知らせをいたします。ご了承ください。

まず、12月には第1回学術講習会『緩和ケア』を開催いたします。昨年度も開催しましたが、参加者も多く業界内でも非常に注目されている分野です。内容は昨年度のブラッシュアップを予定しています。受講しやすいオンラインでの開催となる予定ですので、奮ってご参加ください。

また、12月には第2回イブニングセミナー『症例検討』も開催いたします。講習会が同月中に重なる開催となり申し訳ございません。

年明け1月には、新人研修および第2回学術講習会『産婦人科領域』について開催いたします。

新人研修では産婦人科医の先生をお招きし、鍼灸師との連携についてご講義いただく予定です。また、学術講習会では産婦人科医院にて鍼灸を実践する鍼灸師の先生をお呼びし、日常の施術についてご講義していただく予定です。

2月には第3回イブニングセミナー『スポーツ領域』について、3月には第3回学術講習会『鍼灸技術シリーズ』を開催いたします。

まだ未確定な講習会もあり、会員の皆さまにはご迷惑をおかけし申し訳ございません。講習会日時や内容など、決まり次第随時更新してまいります。ご興味のある講座等がありましたらお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

令和7年度の後半も引き続き皆さまのご参加をお待ちしております。

Web 学生交流会 & お灸工場見学 supported by 山正

学生委員会 藤田 洋輔・北原 奈那

本年度は新たな試みとして、株式会社山正様にご協力をいただき、お灸工場見学として、Webにて学生交流会をおこないました！

お灸工場の実際では、乾燥やふるいにかける工程、さらには灸文化を取り巻くさまざまなお話を山正様よりご教授いただきました。この場をお借りし、改めて御礼を申し上げます。

また、工場見学の後は、学生会員と学生委員会が参加し Web 交流会をおこないました。交流会では学生会員の方より、鍼灸師としての将来や、自身の今後の貢献について質問があがり、経験や知見のある委員より鍼灸界の地図帳や貢献している場面、その成長過程などの参考意見があげられ、学生会員の参考になったのではないかと思います。

当会では学術部等とも連携し、今後も学生の皆さんの知見が広げられる場面を提供し、また、将来の展望について交流のなかで参考となるお話ができるような場を設けていきたいと考えております。

学生会員の方、また一般学生の方に、当会のさまざまな行事にご参加をいただけましたら幸いです。

その際は遠慮なくご質問ください。いつでもお待ちしております！

令和6年度「忘年会&納会」 開催報告

組織共済部 藤田 洋輔

令和6年度は、12月15日（日）の学術講習会後に講師を囲んで「忘年会」を、3月1日（土）に年度を締めくくる交流会として「納会」を開催いたしました！

12月の「忘年会」では、講師の星野直志先生にもご参加をいただき、緩和ケアでの鍼灸の貢献、そのための県内における地域連携の構築なども熱く語り合いました。今後も当会では、医療の中での連携ができる人材育成を目指し、真に医療貢献ができる鍼灸師の育成や社会・地域の中で実直に存在できる鍼灸を目指してまいります。

また、3月の「納会」では、当会75周年記念行事以降おこなっている年功表彰対象会員の表彰もおこないました。

神奈川の中で鍼灸の理解を得る啓発活動をおこなうにあたり、まずは仲間との交流、お互いを知る、これがやはり重要に思います。本年度も交流会をおこなってまいりますので、ぜひ皆さまご参加ください！



令和6年度当会「忘年会」の様子

令和6年度および令和7年度 理事会報告：抜粋

総務部 三田 正樹

■令和6年度

第6回 令和6年12月22日：Web

- 議事1. 郵便料金値上げの対応について
- 議事2. 会員からの福利厚生的な提案について

第7回 令和7年2月23日：Web

- 議事1. 令和7年度定時総会開催の件
- 議事2. 令和7年度資金調達および設備投資見込みの件
- 議事3. 第20回（公社）日本鍼灸師会全国大会 in いばらき Tsukuba 対策費の件

■令和7年度

第1回 令和7年5月11日：Web

- 議事1. 令和7年度定時総会の役割について
- 議事2. 委員等報酬支給規程の制定
- 議事3. 学生会員から正会員移行における1年間の留保可について

令和7年度定時総会 令和7年6月22日

：当会事務所およびWeb

- 議事1. 令和6年度事業報告
- 議事2. 令和6年度決算報告
- 議事3. 令和6年度監査報告
- 議事4. 令和7年度事業方針
- 議事5. 令和7年度事業計画
- 議事6. 令和7年度予算案
- 議事7. 役員等報酬支給規程の改正

第2回 令和7年6月22日

：当会事務所およびWeb

- 議事1. 学生会員継続の件
- 議事2. 神奈川県公衆衛生協会 令和7年度協会長表彰候補者の推薦について

第3回 令和7年7月27日：Web

- 議事1. コミュニケーションツール Slack の導入検討について
- 議事2. アルファ医療福祉専門学校1年生23名学生会員入会承認の件
- 議事3. 自動車保険・傷害保険・失業保険および火災保険などの団体加入について

令和6年度下半期～令和7年度上半期 新入会員のご紹介

ようこそ神奈川県鍼灸師会へ！皆さまのご活躍を祈念しております。

(敬称略)

【正 会 員】

岡市 仁志 (R7/ 5 / 1)	星野 直志 (R7/ 6 / 1)
高士 将典 (R7/ 6 / 1)	安藤 絵里 (R8/ 8 / 1)

【学生会員】

横川 るみ (R7/ 5 / 1)	岩井 留美子 (R7/ 8 / 1)
安斎 知江美 (R7/ 8 / 1)	渡邊 きずな (R7/ 8 / 1)
加藤 梨映子 (R7/ 8 / 1)	山田 高臣 (R7/ 8 / 1)
伊井 響輝 (R7/ 8 / 1)	福室 菜都 (R7/ 8 / 1)
福嶋 敏晃 (R7/ 8 / 1)	鈴木 奏 (R7/ 8 / 1)
石井 敏仁 (R7/ 8 / 1)	柴山 茉凜 (R7/ 8 / 1)
坂内 怜夢 (R7/ 8 / 1)	矢部 健太 (R7/ 8 / 1)
鈴木 心優 (R7/ 8 / 1)	長谷川 佳澄 (R7/ 8 / 1)
新田 今日子 (R7/ 8 / 1)	片山 順平 (R7/ 8 / 1)
重村 もえ子 (R7/ 8 / 1)	木村 璃留 (R7/ 8 / 1)
志牟田 憲子 (R7/ 8 / 1)	井筒 秀樹 (R7/ 8 / 1)
別所 美寛 (R7/ 8 / 1)	杜 冰 (R7/ 8 / 1)

編集後記

今年の夏は暑すぎて、なかなか外に出て体を動かそうという気分にもなれず、運動不足を実感している今日この頃です。＜鍼灸師の不養生＞とならないよう、運動や食事、人と会うことなど健康に気を付けていきたいと思

また、昨年度から本年度にかけて、たくさんの新入会員の方が入会されました。一緒に会の活動にご参加いただき、盛り上げていただければと思います！（石）

発行所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会

〒231-0002 横浜市中区海岸通 4-21 倉田ビル 5F
TEL：045-228-8946 / FAX：045-228-8979
e-mail：info@kanagawa-harikyu.or.jp
URL：https://harikyu-kanagawa.org

発行者：草山 真紀夫（会長）
編集担当：高橋 宏、石川 恵（広報部）
制作・印刷：（株）キューアイ・マネージ
発行日：令和7年11月4日

令和7年度(公社)神奈川県鍼灸師会 下半期スケジュール(11月～)

諸会議関連(予定)

開催予定	その他	理事会	業務執行理事会
11月26日(水)			●
12月21日(日)		第6回	
1月14日(水)			●
2月22日(日)		第7回	
2月25日(水)			●
3月22日(日)		第8回	

学術講習会・イブニングセミナー・新人研修

開催予定	学術講習会	イブニングセミナー	新人研修
12月17日(水)		○	
12月21日(日) 予定	○		
1月18日(日)	○		○
2月(水) 予定		○	
3月(日) 予定	○		

*開催時間など詳しい内容は、当会ホームページ(<https://harikyu-kanagawa.org/>)をご覧ください。

災害支援鍼灸師養成講座

開催予定	行事名称	開催場所
未定	救急法基礎講座	

*開催時間など詳しい内容は、当会ホームページ(<https://harikyu-kanagawa.org/>)をご覧ください。

保険部 講習会

開催予定	行事名称	療養費適正運用研修会
未定	保険取扱い初心者講習会	詳細は改めてご案内いたします。
未定	療養費適正運用研修会	

*その他、会員の皆様よりご提出いただいた療養費の点検を月2回行っております。

普及事業

開催予定	行事名称	備考
11月9日(日)	中区民祭りハローよこはま	詳細は改めてご案内いたします。
11月23日(日)	よこすかシーサイドマラソン	
3月8日(日)	大山登山マラソン	

交流会等

開催予定	行事名称	備考
11月予定	会員交流会	詳細は改めてご案内いたします。
3月予定	納会	

自主勉強会

開催予定	名称	備考
偶数月第1水曜日	かながわ古典研究会	
毎月第3火曜日	問診力を高める勉強会	

*開催時間など詳しい内容は、当会の郵送物およびメール配信サービスでご確認ください。

*予定されている日程は、都合などにより変更になる場合もございます。

KANAKEN

ディスポ鍼 光華 KŌKA

4P



刺入時の切皮痛を
極限にまで減少しました。

■ 高いコストパフォーマンス

ディスポ鍼 光華 4P

1箱200本入 (1パック4本入×50パック)

KN-167

1,700円

(税込1,870円)

[クラスII]

認証番号 220AGBZX00234Z00

針体材質：ステンレス製

エチレンオキサイドガス滅菌済

灸頭鍼・鍼電極低周波治療器用の 電極に使えます。

- 灸頭鍼に使用する場合は、太さφ0.20mm (3番鍼) 以上のものをご指定ください。
- 鍼電極低周波治療器の電極として使用する場合は、太さφ0.20mm (3番鍼) 以上のものをご指定ください。
- 本製品はJIS T9301:2016 単回使用ごうしん(毫鍼)に適合しています。

サイズ表

長さ 太さ	カラー	1寸 30mm	1寸3分 40mm	1寸6分 50mm
0番 (0.14mm)	白	○	○	
1番 (0.16mm)	緑	○	○	○
2番 (0.18mm)	黄	○	○	○
3番 (0.20mm)	青	○	○	○
4番 (0.22mm)	桃		○	○
5番 (0.24mm)	紫		○	○



製造販売元

株式会社 **カナケン**

本 社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL_045-901-5471(代) FAX_045-902-9262

大阪営業所：TEL_06-6935-3016(代)

新潟営業所：TEL_025-286-0521(代)

福島営業所：TEL_024-961-7211(代)

仙台出張所：TEL_022-287-6273(代)

FAX_06-6935-3017

FAX_025-286-8870

FAX_024-961-7221

FAX_022-287-6218



オンラインショップ

◀公式サイトはこちら

<https://e-kenkou.jp/>



※イメージ写真

刺入深度が浅い部位へ

POINT

1

鍼体7mmの短さ

POINT

2

鍼柄の軽量化
(約0.03g)



POINT

3

シリコンフリー

POINT

4

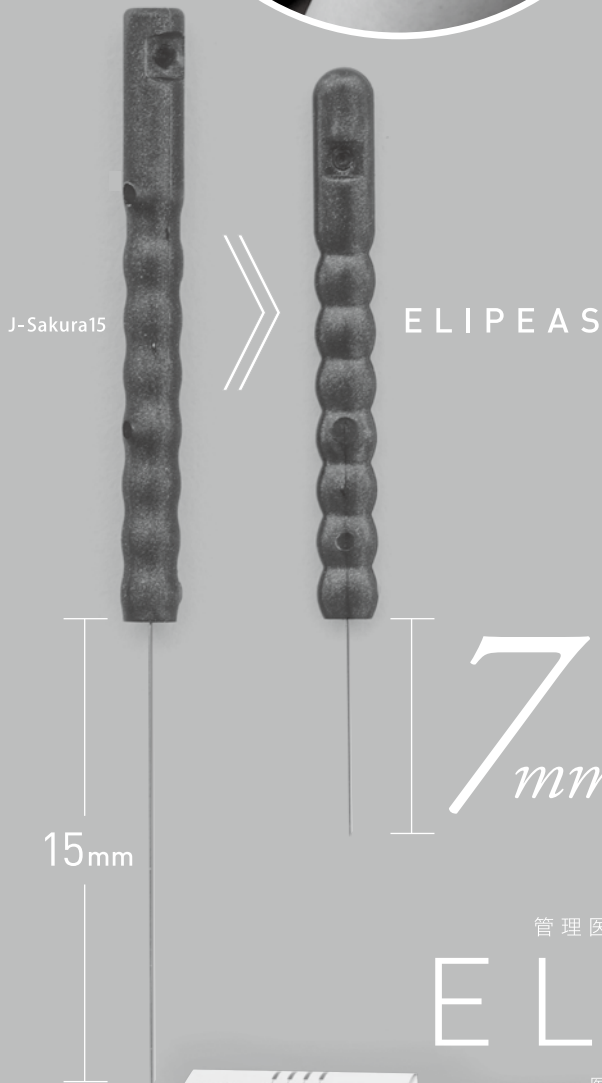
4本集合包装

POINT

5

6種類の太さ

No.03 ロイヤルブルー 0.10mm	No.02 ダークグリーン 0.12mm	No.01 グリーン 0.14mm
No.1 レッド 0.16mm	No.2 アイボリー 0.18mm	No.3 スカイブルー 0.20mm



7mm

Made in Japan

セイリン鍼は、国内で一貫生産しており、品質保証体制を確立しています。

開封動画はこちら！



管理医療機器セイリン鍼 [滅菌済み鍼]

ELIPEAS

医療機器認証番号 15500BZZ00805000



※ELIPEASはセイリン株式会社の登録商標です。(登録番号:第6292197号)

ご使用に際しては、電子添文をよくお読みください。添付文書をご希望の方は弊社HPまたは営業員までご連絡ください。



ISO13485 認証取得

■フリーコール (通話料無料) はこちらから

Free Call 0120-100890

■詳しい情報は、当社WEBサイトでもご覧いただけます

<https://www.seirin.jp>

【製造販売業者】セイリン株式会社 〒424-0061 静岡県静岡市清水区大内147

主役は学生

患者ファーストで
地域医療に貢献できる人材を育成します。

職業実践専門課程認定施設

修学支援制度対象校

専門実践教育訓練指定講座対象校



学校法人 呉竹学園

厚生労働大臣指定養成施設・神奈川県認可専修学校

横浜呉竹医療専門学校

鍼灸マッサージ科 午前コース(30名) / 午後コース(40名)

鍼灸科 特修コース(30名)

柔道整復科 午前コース(60名) / 特修コース(30名)

はり・きゅう・ほねつぎ附属施術所併設

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-24 ☎045-471-3731

JR 横浜線・相鉄・東急新横浜線・市営地下鉄線『新横浜駅』から徒歩5分

www.kuretake-yokohama.ac.jp

呉竹 横浜 検索

